

令和5年度事業報告

本県の水と緑に恵まれた快適な環境を次世代に継承していくため、県民やNPO法人・団体、学校、企業、行政等との連携及び情報の共有化を図り、協働して環境保全活動の普及啓発に努めた。特に、県民一人ひとりに、環境負荷の低減につながる実践的な行動を起こしていただくことを目指して各般の事業を展開した。

具体的には、『協働推進事業』として、環境とやま県民会議、富山県県土美化推進県民会議による県民運動等を推進するとともに、市町村との環境パートナーシップ事業、フードドライブマッチング推進事業、環境保全活動活性化事業等により、環境ネットワークの形成を推進した。

『環境教育推進事業』として、とやま環境未来チャレンジ事業や自然解説事業などを実施した。

『普及・啓発事業』については、とやま環境フェアなどの啓発イベント等を実施するとともに、当財団ホームページやエコノワとやまウェブサイト等により、環境保全・温暖化防止活動に係る情報を発信した。

『地球温暖化対策推進事業』については、地球温暖化防止活動推進員の活動支援、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動（デコ活）の普及啓発などを展開した。

さらに、『エコアクション21 地域事務局事業』として、制度の普及啓発を実施するとともに、新たな事業者の認証・登録を促進した。

1. 協働推進事業【11,444千円 財源：県委託料、県・市補助金、自主財源】

県民やNPO法人・団体、企業、行政等が幅広く連携し、環境保全活動を協働して展開する基盤として、環境ネットワークの形成とその拡大に努めた。

(1) 県民運動等の推進【3,384千円】

循環型・脱炭素社会の構築を目指し、県民・企業・行政が一体となった県民総ぐるみの運動を展開した。

ア 環境とやま県民会議の運営

① 環境とやま県民会議総会の開催

循環型・脱炭素社会の構築を目指し、県民、事業者、報道機関、行政等の協力のもと、県民総ぐるみでエコライフスタイルを推進するため、総会を書面開催し、活動の実施状況や活動計画を共有した。

② 環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」の開催

とやま環境フェア2023に併せて、環境とやま県民会議の普及啓発イベントとして、「エコフェスとやま」を実施した。また、イベント内で実施した「環境保全に係る表彰式」において、環境とやま県民会議会長表彰を実施した。

<イベント概要>

環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」

- ・ 開催期日 令和5年10月14日(土)
- ・ 会場 富山県産業創造センター 高岡テクノドーム
- ・ 参加者 構成団体等 約124名
- ・ 次第

a 環境保全に係る表彰式

県部門功労知事表彰、環境とやま県民会議会長表彰、

- とやまエコ・ストア連絡協議会会長表彰、
環境ポスターコンクール表彰（ポスターはドーム内に展示）
- b とやまエコ・ストア連絡協議会 制度発足 10 周年挨拶
 - c 小島よしおさんトークショー
- ～ 一緒に海洋ごみ問題を考えよう！ ～

<表彰概要>

環境とやま県民会議会長表彰

- | | |
|----------------------|-----------|
| ごみゼロ・リサイクルの推進に該当する活動 | 1 団体 |
| 地球温暖化対策の推進に該当する活動 | 2 個人、1 団体 |

イ 富山県県土美化推進県民会議の運営

① 富山県県土美化推進県民会議総会の開催

県民総ぐるみの「県土美化推進運動」を展開し、うるおいとやすらぎのある住みよい郷土をつくるため、活動報告及び活動方針をとりまとめ、総会を開催し、活動の実施状況や活動計画を共有した。

- ・ 開催期日 令和5年4月20日(木)
- ・ 開催場所 富山県総合福祉会館（サンシップとやま）福祉ホール
- ・ 参加者 構成団体等 45名

② 県土美化推進功労者表彰式の開催

地域の清掃美化活動に貢献し、他の模範となる個人や団体を県土美化推進功労者として表彰した。

- ・ 開催期日 令和5年4月20日（木）
- ・ 開催場所 富山県総合福祉会館（サンシップとやま）福祉ホール
- ・ 受賞者 知事表彰 団体4団体
会長表彰 個人3名、団体8団体

ウ 「みんなできれいにせんまいけ大作戦」の展開

富山県の貴重な財産である美しい海岸を保全するため、沿岸市町及び上流エリアの県民、事業者、行政が連携して県内各所で一斉清掃活動を展開する「みんなできれいにせんまいけ大作戦」を展開した。

- ・ 実施期間 令和5年5月1日（月）～9月30日（土）
- ・ 参加人数 33,582人 【R4年度：30,016人】

① 街なかでの清掃イベントの開催（荒天のため中止）

- ・ 名称 G7 富山・金沢教育大臣会合に向けた清掃活動
- ・ みんなできれいにせんまいけ大作戦 2023 キックオフ
- ・ 開催日 令和5年5月7日（日）
- ・ 開催場所 富山城址公園内
- ・ 参加者 約250人（申込み）

② 運営支援

県内各市町村の清掃美化活動に対し、活動資材の提供等の支援を実施した。

③ 普及啓発

清掃活動予定を記載したチラシを作成、配布するとともに、ホームページ等で周知した。

(2) 環境ネットワーク形成事業【8,060千円】

県内企業、関係団体等の環境保全活動の情報を発信するホームページ「エコノワとやま」の活用を図るとともに、県民、NPO法人、企業、行政等と連携した環境保全活動の主体のネットワーク化や事業の協働化に取り組んだ。

ア 環境保全活動支援事業

企業とNPO法人等の連携・協力を推進するため、情報提供や意見交換の場を提供するとともに、環境イベントへの参画を支援した。また、環境保全意識の高揚、知識の普及啓発及び将来の指導者育成を図るため、企業、学校、団体等の要請に応じ、環境保全活動の専門家や地球温暖化防止活動推進員等を講師として派遣した。

① 「とやま環境フェア2023」への参加支援

企業・団体等のブースを設けて出展を募集し、環境保全の取組み等の発信を支援した。

② 出前講座の実施

- ・ 実施回数：7回、受講者数：372名 【R4年度：11回、851名】

イ 市町村との環境パートナーシップ事業

市町村とのパートナーシップを形成し、環境保全活動における連携・協力を推進するため、各市のエコライフ・イベント等の事業を支援するとともに当財団として出展・参加し、財団事業や環境保全行動を広報、啓発した。

- ・ 実施内容 各市の環境フェア・イベントへの参加及び開催支援、とやま環境フェア2023への出展の機会の提供や「とやまデコ活応援キャンペーン」等の普及啓発に努め、意識の高揚を図った。

- ・ 参加等人数 13,916名 【R4年度：6,642名】

ウ サルベージ・サポーターマッチング事業

手付かず食品の削減に有効なサルベージ・パーティ（家で余っている食材を持ち寄って調理すること）の普及のため、県の認定を受けたサルベージ・サポーターの活動支援を行うとともに、取組み拡大に向けた普及啓発を行った。

- ・ サルベージ・パーティの実施支援

実施回数：8回、参加者数：141名 【R4年度：7回、157名】

エ フードドライブマッチング推進事業

家庭での食品ロス削減の取組みを促進するため、未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブの実施を関係団体などに呼びかけ、フードドライブの実施を支援するとともに、その結果をホームページ等で普及啓発した。

- ・ フードドライブの実施支援

実施回数：103回 66団体 【R4年度：74回】

⑧ オ 食育全国大会普及啓発事業

本県で開催される「食育推進全国大会」に併せ、食品ロス・食品廃棄物削減に関するイベント及び啓発を行った。

① フードドライブの開催

- ・ 開催期日 令和5年6月24日（土）、25日（日）
- ・ 会場 富山産業展示館（テクノホール）
- ・ 提供食品 95点

② サルベージ・パーティの開催

- ・ 開催期日 令和5年6月25日(日)
- ・ 会場 富山調理製菓専門学校
- ・ 内容 親子等向けのサルベージ・パーティ
- ・ 参加者 9組29名

カ 豊かな地下水保全事業

本県の豊かで清らかな地下水を県民共有の貴重な財産として、将来にわたり守り育てていくため、消雪設備の節水や名水・湧水の保全など地域に根差した地下水保全活動を担う「地下水の守り人」について、セミナーを開催するなど活動を支援した。

① 地下水保全に係るセミナーの開催

- ・ 開催期日 令和6年3月22日(金)
- ・ 開催方法 富山県民会館、オンライン
- ・ 内容 とやまの水循環と脱炭素を考える講演
富山県地下水指針の解説
- ・ 参加者 実会場40名、オンライン63名、合計103名
【R4年度：45名】

② 守り人の活動支援

守り人の活動情報を財団機関紙やホームページで紹介するとともに、消雪設備維持管理用の器具等の貸出し等の活動の支援を行った。

キ 環境保全に関する相談事業

環境保全相談室を設置し、環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、清掃活動や地球温暖化、活動支援等に関する相談に応じた。

ク 環境保全活動活性化事業

① 環境関係法規の手引の作成・頒布(収益事業)

環境保全活動を活性化し、企業等の取組みを支援するため、「令和5年版環境関係法規の手引」を作成し、有償頒布した。

- ・ 頒布先等 県内企業、団体等 92冊【R4年度：120冊】

② 脱炭素経営に係るセミナーの開催等

事業者における脱炭素化に向けた取組みを推進するため、自治体、大学、関係機関・団体等と連携し、事業者向けの脱炭素経営に係るセミナー等を実施した。

a 企業の脱炭素経営に係る情報共有・交換

- ・ 開催日 令和5年6月30日(金)
- ・ 開催方法 富山県民会館、オンライン
- ・ 参加者 23名(事業者団体、国・自治体、支援機関、金融機関等)
- ・ 内容 開催趣旨、脱炭素経営支援事業実施計画、関係機関・団体等の取組み

b 脱炭素経営セミナー「事業者の脱炭素経営入門」

- ・ 開催日 令和5年9月5日(火)

- ・ 開催方法 オンライン(中部8縣市共同)
 - ・ 参加者数 中部8県 119名(うち県内17名)
 - ・ 内 容 脱炭素経営に取り組む必要性、気候変動の現状について企業経営の観点から解説
- c 脱炭素・省エネ促進セミナー
- ・ 開催期日 令和5年9月7日(木)
 - ・ 開催方法 富山県民会館、オンライン、動画配信
 - ・ 参加者 67名
 - ・ 内 容 事業者の省エネ取組事例、関係機関・金融機関等による省エネ診断事例紹介、支援メニュー紹介
- d 脱炭素経営ファーストステップワークショップ
- ・ 開催日 令和5年10月17日(火)、12月7日(木)
 - ・ 開催方法 富山県民会館
 - ・ 参加者数 県内事業者 4社
- ・ 内 容 前半 企業における脱炭素化の取組み方(講義)
自社の環境負荷の把握(演習)
後半 カーボンニュートラル達成への課題の明確化、
効果的な情報発信についてなど(講義)
- インターバル期間、フォローアップ期間を設け、中小機構と連携した専門家による個別相談(オンライン)を実施した。
- e とやま脱炭素・省エネ診断の実施
- ・ 診断者数 県内事業者 2事業者(5工場・事業所)
 - ・ 内 容 脱炭素・省エネルギー診断に係る事業者事前ヒアリング
工場・事業所等における脱炭素・省エネルギー診断
脱炭素・省エネルギー診断報告書の作成及び報告会の開催

ケ 行事等への後援・協賛

県、市町村、地域活動団体等が主催する行事等への後援・協賛を実施した。

- ・ 後援・協賛・共催事業件数 16件【R4年度：18件】

2. 環境教育推進事業【11,396千円 財源：県委託料、自主財源】

環境保全活動の継続と拡大を図るため、学校や地域社会で環境保全に対する理解を深め、取組意欲の高揚を図る環境教育を推進するとともに、各団体等が実施する活動を支援した。

(1) とやま環境未来チャレンジ事業【3,518千円】

小学4年生を対象に、エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、小学校に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「とやま環境チャレンジ10」を実施した。

- ・ 開催時期 令和5年6月～12月
- ・ 実施校数 県内全市町村 小学校 68校 【R4年度：63校】
- ・ 参加者数 児童 2,854名 【R4年度：3,038名】

- ・ 内 容 小学校教諭や推進員による授業、
児童・家族による地球温暖化防止や3Rの推進、
食品ロス削減等のための取組みの実践（10項目、4週間）

また、地球温暖化対策や食品ロス削減などエコライフに関する副読本を作成、全小学4年生児童に配布し、学校での授業及び実践活動を支援した。

(2) はじめてのエコライフ教室【前掲 1. 協働推進事業(2) 環境ネットワーク形成事業と兼ねる】

幼児期から(家族ぐるみで)エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、幼稚園・保育所等に推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施した。

- ・ 開催時期 令和5年6月～10月
- ・ 実施園数 12園 【R4年度: 15園】
- ・ 参加者数 幼児389名、保護者97名 【R4年度: 371名、83名】
- ・ 内 容 省エネやごみ分別等のエコライフの説明、
児童・家族によるエコライフの取組み実践(3項目、1週間)

(3) こどもエコクラブの支援【前掲 1. 協働推進事業(2) 環境ネットワーク形成事業と兼ねる】

こどもエコクラブの富山県事務局として、こどもエコクラブの育成及び活動支援を行った。

- ・ 登録クラブ数 39クラブ 【R4年度: 39クラブ】
- ・ メンバー数 1,059名(3歳～中学3年生) 【R4年度: 1,059名】

(4) エコドライブ推進事業

気軽にエコドライブを体感できるシミュレータを活用したエコドライブ体験会を開催し、エコドライブの一層の定着・拡大を推進した。

- ・ 開催日 令和5年10月14日(土)、15日(日)
- ・ 開催場所 富山県産業創造センター(高岡テクノドーム)
(とやま環境フェア2023会場内)

(5) 自然解説事業【7,878千円】

自然保護意識の高揚を図るため、県内4地区に自然解説員(ナチュラリスト)を配置し、自然解説を実施した。また、活動業務打合せ会及び活動業務報告会を開催するとともに、ナチュラリストの資質向上及び支援を目的とした研修会を開催した。

① 自然解説

- ・ 配置期間 令和5年4月29日(土・祝)～11月3日(金・祝)

配置場所及び人数一覧

配置場所	ねいの里	頼成の森	称名地区	立山地区		計
				室堂平	弥陀ヶ原	
配置人数	58名	59名	81名	127名 (365名)	113名 (332名)	438名 (895名)

※ () は、配置延べ人数

【R4年度: 計500名 (1,023名)】

② 活動業務打合せ会

- ・ 開催日 令和5年4月15日(土)
- ・ 開催方法 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)、オンライン
- ・ 参加者 会場70名、オンライン28名

③ 活動業務報告会

- ・ 開催日 令和5年12月9日(土)
- ・ 開催方法 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)
- ・ 参加者 56名

④ 研修会

第1回 令和5年6月24日(土)

- ・ 開催方法 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)、オンライン
- ・ 参加者 会場54名、オンライン19名
- ・ 内容 講演「歴史から見たライチョウと立山の生息状況」
座談会「ライチョウに学ぶナチュラリスト活動」

第2回 令和5年9月12日(火)

- ・ 開催方法 現地研修
- ・ 参加者 35名
- ・ 内容 フォッサマグナミュージアム及びパーク見学

第3回 令和5年12月9日(土)

- ・ 開催方法 サンシップとやま、動画配信
- ・ 参加者 会場56名、後日視聴24名
- ・ 内容 講演「立山今昔物語」

3. 普及・啓発事業【5,809千円 財源：県負担金、自主財源】

啓発イベントを開催し、環境保全意識の高揚とエコライフ実践の拡大を図った。

また、ホームページやメールマガジン、機関紙「きょうせい」等の媒体により、環境保全・地球温暖化防止活動の情報を発信し、先駆的な取り組みを実施している団体・企業等を紹介するとともに、環境保全に関する普及啓発を行った。

(1) 啓発イベント等実施事業【4,974千円】

ア 「とやま環境フェア」の開催(富山県、高岡市、環境とやま県民会議と共催)

県民に持続可能でウェルビーイングの実現を目指し、脱炭素型社会・循環型社会づくりや自然との共生に向けた取り組み事例を紹介するとともに、カーボンニュートラル推進や3R推進を捉え、環境配慮の取り組みなどを楽しみながら体験・体感するとやま環境フェアを開催した。

開催にあたっては、主催者、主要団体等で構成する開催委員会の元に設置された実行委員会を3回開催し、事業計画や円滑な推進について審議した。

- ・ 開催期日 令和5年10月14日(土)、15日(日)
- ・ 開催場所 富山県産業創造センター(高岡テクノドーム)
- ・ 来場者数 一般県民等 約12,200人【R4年度：895人】
- ・ 出展者数 61企業・団体・NPO・学校・行政機関等
【R4年度：20団体・企業】

- ・ 内 容

- ＜出展者ブース＞

- カーボンニュートラル、エシカル消費、省エネ住宅、環境保全活動の紹介、工作や省エネ実験等のエコ体験、住宅太陽光発電導入シミュレーション、ミライ地球ガチャ体験、環境すごろく、ダンボール迷路、フードドライブ、不要衣類の回収、おもちゃ病院、次世代自動車の展示等

- ＜ステージイベント＞

- 環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」の開催（再掲）、地元スポーツチームのエコメッセージ動画上映、「富山の水素エネルギー」プレゼンテーション、出展者 PR タイム、うんこ先生の地球温暖化特別授業、パフォーマンスショー、海洋ごみやカーボンニュートラルに関するトークショー、県出身俳優トークショー&エコクイズ、わくわく抽選会

- イ 環境関連イベントへの出展・啓発

- NPO 法人、学校等が実施する環境関連イベントにおいて、県土美化や地球温暖化防止の普及啓発を行った。

- (2) 環境保全・温暖化防止活動情報発信事業【835 千円】

- ア ホームページによる情報提供

- ホームページにより財団事業の紹介、イベント案内など環境関連情報を発信した。

- イ メールマガジン「とやまエコ通信」の配信

- 環境関連イベントの情報、国・県等からのおしらせ、募集事項などの情報を掲載したメールマガジンを毎月配信した。

- ・ 配信回数 毎月末12回、号外 9 回

- ・ 配 信 先 県民、企業、市町村、関係団体等 459件

- 【R4年度： 430件】

- ・ 配信内容 環境関連イベントの情報、国・県・関係団体等からのお知らせ（周知、案内、募集、啓発）等

- ウ 「エコノワとやま」による情報発信

- 県内のNPO法人等の環境保全活動に関する情報を集約・発信して環境保全活動を支援する参加型のホームページ「エコノワとやま」を運営した。

- ・ 掲載団体数 149 団体

- 【R4 年度： 150 団体】

- エ 機関紙の発行

- 財団の事業内容、県内の環境活動団体の紹介、環境に関する情報提供を行うため、機関紙「きょうせい」を発行した。

- ・ 発行回数 年 2 回（21 号 8 月、22 号 1 月）

- ・ 発行部数 2,500 部、ホームページに掲載

- ・ 配布先 県、市町村、出捐企業、賛助会員、関係団体、学校等

4. 地球温暖化対策推進事業【87,094千円 財源：県・民間補助金、自主財源】

富山県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動アドバイザーを配置し、地球温暖化対策や省エネに関する相談窓口の設置及び温暖化防止の普及啓発、地球温暖化防止活動推進員の活動や、事業者における脱炭素化を推進するためのセミナー開催等の支援を行った。

また、新たに2050年カーボンニュートラルの実現に向け、住宅等への再生可能エネルギーの導入を支援した。

(1) 地球温暖化防止活動推進センター事業【12,665千円】

ア 地球温暖化防止活動アドバイザーの設置事業

地球温暖化防止に向けて、県民及び事業者に対する普及啓発や指導助言、調査業務を行った。

イ 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業

県から委嘱した地球温暖化防止活動推進員に対して、ニーズを踏まえた研修会の開催、情報提供及び資材・資料の提供等を通じて、活動支援した。

＜推進員研修＞

- ・ 開催回数等 4回（会場、オンライン、動画配信）
- ・ 参加者数 延べ149名 【R4年度：5回、延べ222名】
- ・ 内 容 座学（SDGsの概要と富山県の取組み、富山県カーボンニュートラル戦略の概要、富山県、環境白書の概要、早生樹のバイオマス燃料化モデル事業の状況、推進員活動紹介、小学校における環境教育）
体験（環境科学センターの温暖化研究とデジタル四次元地球儀の操作方法、エコ・ラボ見学）

ウ とやま環境未来チャレンジ事業（再掲）

エ 地球温暖化防止活動・脱炭素化促進事業（(一社)地球温暖化防止全国ネット補助事業）

① 地域における地球温暖化防止活動の促進

富山県から指定を受けている「富山県地球温暖化防止活動推進センター」としての基盤強化を図るため、地球温暖化防止に関する情報の集積や地球温暖化防止に資する人材育成等の事業を行った。

② 事業者における脱炭素化の推進

- ・ 脱炭素経営に係るセミナーの開催等（再掲）

オ 環境保全に関する相談事業（再掲）

㊦ カ 脱炭素型ライフスタイル普及促進事業

① とやまデコ活応援キャンペーン

国が展開する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動（デコ活）」の周知と脱炭素につながるアクションの実践につなげるため、県内スポーツ団体と連携した「とやまデコ活応援キャンペーン（ウェブ）」をとやま環境フェア2023に併せて展開し、市町の協力も得て、パネルを巡回展示するなど、周知啓発を実施した。

- ・ 期 間 令和5年10月14日（土）～令和6年1月15日（月）

・ パネル展示 9市町

【R4年度： 8市町】

② 気候変動・脱炭素学習教材

児童向け教材（富山県版 うんこドリル地球温暖化）や県民向け教材（ミライ地球ガチャ）を作成し、普及啓発を図った。

<ドリル教材>

- ・ 部 数 1万部
- ・ 配布先 全小学校（4年生）等

⑧ キ 地域活動推進事業

地域での地球温暖化対策を推進するため、地球温暖化防止活動推進員を養成する講座等を開催した。

<推進員養成講座>

- ・ 開催回数 5回（会場、オンライン、動画配信）
- ・ 参加者数 延べ127名
- ・ 修了者数 27名
- ・ 内 容 座学（地球温暖化防止活動推進員活動や地球温暖化の概要、地域における脱炭素と社会課題解決、小学校における環境教育、富山県カーボンニュートラル戦略、食品ロス削減に関する取組み、プラスチック資源循環の促進、とやま環境チャレンジ10教室概要と授業例）
体験（とやま環境フェアの見学・体験、環境楽習室エコ・ラボとやまの見学、児童向け環境すごろくの体験）

⑧ (2) 再生可能エネルギー導入促進事業【74,429千円】

県民や県内企業に対し、自家消費型太陽光発電設備の導入に対する補助を行った。また、太陽光発電等の周知を図るため、ホームページ、広報誌等での啓発、太陽光発電に関する座談会を開催した。

- ・ 補助金交付申請受付件数 128件（県民120件、企業8件）【繰越し13件】
- ・ 補助金交付額計 50,548,000円

5. エコアクション21 地域事務局事業【1,683千円 財源：県・民間委託料、登録認証料収入】

エコアクション21 地域事務局として、制度の普及啓発を図るとともに、事業者の認証・登録を推進する。

(1) エコアクション21 制度の普及啓発【297千円】

ア 企業・団体等への普及啓発の実施

学識者や関係の事業者団体で構成する「脱炭素・環境経営普及戦略会議」を開催し、脱炭素経営やエコアクション21等の環境マネジメントシステムの普及推進について検討し、普及啓発への協力を依頼した。また、ホームページやメルマガ等により、制度の普及啓発を図った。

<普及戦略会議>

- ・ 委員 7名（学識者、県、商工会議所等、事業者団体）
- ・ 開催日等 第1回 令和5年6月30日（金） 富山県民会館
第2回 令和6年3月6日（水） 富山県森林水産会館
- ・ 内容 地域事務局事業の実施報告及び次期計画、
企業の脱炭素化の推進（普及に係る今後の取組み等）

イ フォローアップセミナーの開催

- ・「脱炭素・省エネ促進セミナー」の開催（再掲）

(2) エコアクション21 認証・登録事業（収益事業）【1,386千円】

事業者からの審査申込の受付、審査員の選任、審査報告書の受付、認証・登録の可否を審査する判定委員会への送付、中央事務局への判定結果の報告等を行った。

- ・ 認証・登録事業者数 105社（累計176社）

【R4年度：105社（累計173社）】

(3) エコアクション21 自治体イニシアティブ・プログラムの推進

【前掲（1）エコアクション21 制度の普及啓発と兼ねる】

富山県と共催で“エコアクション21 自治体イニシアティブ・プログラム”を実施し、事業者の募集と指導講習を行い、認証取得を推進した。

- ・ 実施期間 令和5年9月～令和6年2月
- ・ 開催回数 6回（事前セミナー1回、講習会5回） 富山県森林水産会館
- ・ 参加者 8社 【R4年度： 5社】
- ・ 内容 ガイドラインの説明、認証取得に向けての指導講習

6. 運営体制強化事業【21,881千円 財源：県補助金、自主財源】

協働推進事業をはじめとする事業について、現状や課題を踏まえ、「意識啓発」から「協働・実践」へと効果的・効率的な展開を図るため、次の事項等について検討、実施した。

- ・ 最新の環境関連情報の収集及び職員の能力形成
- ・ 富山県とも連携のうえ、事業実施に関する報道機関向け情報提供の充実
- ・ 県民、企業等との連携・協働の強化等のため、事業実施に併せたアンケート等によるニーズ把握や事業の検討
- ・ 財政基盤強化のための賛助会費、寄附金等の確保に向けた、検討及び働きかけ等
- ・ 迅速、簡便な更新作業による情報発信の強化、スマートフォンでの閲覧やセキュリティ確保などに対応する新たなホームページ・システムの導入検討

(参考資料1)

1 会議の開催状況

(1) 理事会

開催日	名称	開催場所	出席者数	議題等
R 5. 4. 1	第60回理事会	(書面)	理事 13名 監事 1名	・評議員会の開催(書面)の議決について 評議員会の議決事項 監事の選任について 評議員の選任について
R 5. 5. 27	第62回理事会	(書面)	理事 12名 監事 2名	・評議員会の開催(書面)の議決について 評議員会の議決事項 理事の選任について
R 5. 6. 5	第61回理事会	富山県民 会館 611号室	理事 11名 監事 1名	・令和4年度事業報告及び収支決算について ・役員の改選について ・定時評議員会の開催の議決について 定時評議員会の議決事項 令和4年度事業報告及び収支決算について 理事、監事、評議員の選任について
R 5. 6. 28	第63回理事会	(書面)	理事 13名 監事 2名	・代表理事(理事長、専務理事)の選任について
R 5. 6. 30	第64回理事会	(書面)	理事 12名 監事 2名	・評議員会の開催(書面)の議決について 評議員会の議決事項 理事の選任について
R 5. 7. 1	第65回理事会	(書面)	理事 13名 監事 1名	・評議員会の開催(書面)の議決について 評議員会の議決事項 監事の選任について
R 6. 3. 21	第66回理事会	富山県民 会館 701号室	理事 10名 監事 2名	・令和5年度事業報告(見込み)について ・令和5年度収支予算の補正について ・令和6年度事業計画及び収支予算について ・令和6年度資金運用計画について
R 6. 3. 29	第67回理事会	(書面)	理事 13名 監事 2名	・令和5年度収支予算の補正について

(2) 評議員会

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R 5. 4. 1	第 42 回 評議員会	(書面)	評議員 5 名	・ 監事の選任について ・ 評議員の選任について
R 5. 5. 27	第 44 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	・ 理事の選任について
R 5. 6. 28	第 43 回 評議員会	富山県民 会館 302 号室	評議員 7 名 理事 2 名 監事 1 名	・ 令和 4 年度事業報告及び収支決算について ・ 役員の変更について 理事、監事、評議員の選任について
R 5. 6. 30	第 45 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	・ 理事の選任について
R 5. 7. 1	第 46 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	・ 監事の選任について

(3) 環境とやま県民会議及び県土美化推進県民会議

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R 5. 4. 20	富山県県土美 化推進功労者 表彰式	富山県総合 福 祉 会 館 (サンシッ プとやま) 福祉ホール	45 名	・ 富山県県土美化功労者表彰
R 5. 4. 20	県土美化推進 県民会議総会	富山県総合 福 祉 会 館 (サンシッ プとやま) 福祉ホール	31 団体	・ 令和 4 年度県土美化推進運動の実 施報告 ・ 令和 5 年度県土美化推進運動実施 要領
R 5. 6. 21	環境とやま県 民会議第 1 回 幹事会	(書面)	20 名	・ 令和 4 年度事業報告 ・ 令和 5 年度事業計画
R 5. 6. 27	環境とやま県 民会議総会	(書面)	112 団体	・ 令和 4 年度事業報告 ・ 令和 5 年度事業計画
R 5. 9. 22	環境とやま県 民会議第 2 回 幹事会	(書面)	20 名	・ 令和 5 年度環境とやま県民会議イ ベント「エコフェスとやま」実施 要領について ・ 令和 5 年度環境とやま県民会議会 長表彰受彰者の選考
R 5. 10. 14	環境とやま県 民会議イベン ト「エコフェ スとやま」	富山県産業 創造センタ ー 高岡テ クノドーム	124 名	・ 環境保全に係る表彰式（環境とや ま県民会議会長表彰等） ・ とやまエコ・ストア連絡協議会 制度発足 10 周年挨拶 ・ 海洋ごみに関するトークショー

R 6.3.6	県土美化推進 県民会議幹事 会	(書面)	22名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度県土美化推進運動の実施状況 ・令和6年度県土美化推進運動実施要領 ・県土美化推進功労者の選考
---------	-----------------------	------	-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 基本財産等の状況

(1) 基本財産

(単位；千円)

区 分	目 標 額	R4年度末 受領額	R5年度増減額	R5年度末 受領額
県	200,000	200,000	0	200,000
市町村	100,000	100,000	0	100,000
民間	300,000	284,900	0	284,900
計	600,000	584,900	0	584,900

(2) 環境保全活動推進基金

(単位；千円)

区 分	R4年度末 受領額	R5年度増減額	R5年度末 受領額
民間	46,530	0	46,530

(3) 賛助会員

区 分	会 員 数	賛助会費額	備 考
個人	161名	286千円	2,000円／人
法人・団体	334団体	7,690千円	10,000円／口
計	個人・団体	7,976千円	